

# むちむちミキちゃんミルク体質♪

突かれる度に乳吹き低音アクメ♪

もうイかせないで><！↓潮吹きしてもち○ぽに負けるな！

目指せ搾乳1500ml♪

2022/02

同人音声サークル『ライオクライオ』

この台本データは初稿バージョンです。実際の音声と異なる箇所がございます。  
ト書きはほぼそのままですが、特殊文字や一部ワードは公開用に省いています。

放課後。

忘れ物を取りに図書室に戻る主人公。

扉越しに甘い声が聞こえる。

《◆正面/50cm 奥に向かってしゃがんで喘ぐ》

(ミルク出す↓息を整えるの繰り返し)

ミキ1 「ふ、んんうう♪ ふー、ふー♪」

ミキ2 「んんうううう♪ ふー、ふー♪」

ミキ3 「ん、んん♪ んうう♪」

主人公、そつと後ろ向きのミキに近づく。

《◆正面/30cm 奥に向かってしゃがんだまま》

ミキ4 「ふー、ふー♪ まだ出るう……もう……」

ミキ5 「こっちの、おっぱいも……んっ♪」

ミキ、水筒に向かってミルクを出す。

ふしーっと弾ける音が響く。

ミキ6 「んんんうううう♪ ふあああ♪ はー、はー♪」

《振り返って顔を見る》

ミキ 7 「あ……あえ？」

《尻もちついて遠ざかる》

ミキ 8 「あ、あ、ああああ！」

混乱してぐちゃぐちゃの早口。

（顔見たり、横見たり、胸見たり、慌てる感じを

自由な動きで）

ミキ 9 「な、なんで、あ、や、その、あ、あ、これは、違

て！ 私、あの、あ、あ、ああ、あ」

忘れ物しちゃって……。

ミキ 10 「は、はははへ？ わ、わ忘れ物をつ！ あ、ああ、

あーっ！」

《その位置で立ち上がって横の受付を見る》

ミキ 11 「ま、待ってくださいっ。え、えええっと確か」

《◆正面/30cmへ移動しながら顔を見る》

ミキ 12 「ん、しよつ。このバッグ、ですかねっ」

ミキ 13 「ああ、良かったっ」

ミキ 14 「さっき見つけて」

（『その本棚』で横の本棚を指さす）

ミキ 15 「その本棚に置きっぱなしでしたっ」

ミキ 16 「はいっ。良かったですっ」

気まずい空気。

ニキ17 「あはは……あは……はあ」

ニキ18 「（胸見る）あ、あー（顔見る）ごめんなさい、おっぱい出してて！ えへ、へ、変ですよー！（横見る）今、服着ますから、このことは——」

ミルクがあふれ出てしまう。

（胸を見る）

ニキ19 「は、あつ♪ うそ♪ 今出ちゃ♪ や、ああ♪  
ふー♪ はー、はー♪」

《とろけた顔で、主人公の顔を見る》

ニキ20 「はええ?」

あふれるミルクの快感を我慢しながら言い訳。

ニキ21 「あ、ああ、や……えつと。ふー♪ 私はあ♪ 図書委員なんで♪ んふー♪ 放課後の掃除と？ あと、蔵書リストの更新を、してた、あつ♪ だけ、ですよー、はー♪」

ニキ22 「んですよー。ふー♪ 聞きたいのは、そこじゃない、ですよ。はー♪ うう♪」

ニキ23 「実は、私、ん、ミルク、出ちゃうんです♪ はー♪ 妊娠、じゃなくて♪ そういう、体質で♪ はー♪」

ニキ24 「ミルク、出さないと、集中できない、からあ♪ いつも、放課後の図書室で、乳搾り、してて♪ はー♪ うう♪」

「なのに、今日はあ♪ カギかけるの、忘れちゃったあ♪ ずっと秘密にしたのに、バレちゃったあ」

《◆正面/10cm ぐっと近づく》

ミキ 26 「あ、ああ、あのお」

ミキ 27 「このことは、誰にも言わないでください。お願いします。はー♪」

ミキ 28 「へ？ 秘密に、する、けど？」

主人公、ミキの胸を揉む。

母乳が飛び出て、ギャップのある喘ぎが出る。

ミキ 29 「（胸見る）え、や、ちょ……（顔見る）だめっ……やめてくだっ——（低）うあっ♪」

震える呼吸。

ミキ 30 「ふー♪ じ、自分で、やりますからっ♪ そんな、お手伝い、なんてっ♪（低）ああああ♪」

ミキ 31 「だめ♪ お乳揉まないで♪ 出ちゃ（低）うっ♪ あっ♪ 出る♪ お乳出る♪ あっ、ああああ♪」

《◆右前/10cm 脱力、ふにやあっと寄りかかる》

ミキ 32 「んふー♪ はー♪」

ミキ 33 「らめえ♪ はー♪ だめなお♪ んふー♪ 水筒♪ はー♪ せめて、水筒に♪ はー♪」

ミキ 34 「はい。水筒、です……ふう」

ニキ35

「そのまま出したら、掃除、大変じゃないですかあ」

ニキ36

「私が、水筒持ってますから……（胸見る）ここに、  
搾ってください……（低）うあっ♪」

ニキ37

「（顔見る）ゆ、ゆつくり！ ゆつくり搾って？

（涙）おねがい……ふ、ふう……」

ぷしゅー、ぷしゅーつと、ゆつくり何度も搾る。

ニキ38

「（低）あああああ……んふー、ふー♪

あああああ……ふー♪」

ニキ39

「男の人の手、おつきい……ああまた出ちゃう

（低）ああああ、んふうううう♪」

搾られながら雑談。

ニキ40

「そりや、大変ですよつ。う、あつ……学校行く前に、  
搾んなきゃ、んふー、いけないし♪」

ニキ41

「放課後も、ミルク、う、溜まっちゃやうからあ♪

おっきい水筒、持ち歩いてるんです♪ んううう♪」

いっぺん♪

ニキ42

「1. 5リットル♪ 水筒いっぱいにならないと、

はー♪ 胸が張って、んっ、乳首も敏感になっ

ちやって♪ うっ♪ 帰りの電車、ガタンって♪

揺れるだけで♪（低）あっ♪（中）ふー♪ 軽く、

（高）うお♪（中）チクイキ♪ しちやうんです♪

ふー♪ ああああ♪」

バストサイズは？

ニキ43

「え？ サイズ？ それ、教える必要があります？

（揉まれ）あ、やああ、待って♪ お、教えるから♪

教えるからあ……優しく、揉んでください。ふー♪」

ニキ4 「サイズはあ、Mカップ、です」

ニキ45 「搾ってて、重たいですよね。はああ♪」

ニキ46 「キッチンで使う計量器に、乗せたことあって」

ニキ47 「片乳だけで、5キロもあるんですよ？」

大変だねー。

ニキ48 「んだから、大変って、言ってるじゃないですか」

ニキ49 「真面目な顔してても、騙されませんからねっ。

はー♪ おっきいおっぱい、揉みたいだけでしょ」

ニキ50 「……いじわるっ」

ニキ51 「ああまた出ちゃう（低）ふああああ……う、う……  
んふー♪ ふー♪」

ニキ52 「（下見る）んええ？（顔見る）んねーえ。なんか、  
硬いの、当たってるう。これ……うそ」

《◆正面/30cm呼吸しつつ移動》

ニキ53 「はあ、はあ♪」

ニキ54 「分かりますよ。分かりますけど。（涙）おちんちん、  
ですけどお」

ニキ55 「だ、だめですよ？ 搾るの、手伝うだけって！」

（バッグや服をかき集める動き）

ニキ56 「水筒もいっぱいになったんで、もう帰りますー！」

《◆右に左に、主人公の後ろへ逃げようとする》

ニキ57 「し、失礼しま、や、どいて！ やだ、許して、  
やだああ」

《◆左耳/〇〇〇押し倒されて、抱きつかれる》

ニキ58 「んひゃあつ……う、うあ」

ニキ59 「や、誰か、助け」

《◆正面/〇〇〇塞ぐキス。無理やり舌入れられ》

ニキ60 「ん、んん！ ちゅ、ちゅぶ、れる……んー！

ちゅう、れるちゅ」

胸を弄られ、とろける。

ニキ61 「んやーあ♪ おっぱい搾りながら、だめっ♪」

ニキ62 「ん、ちゅれる♪ んん♪ キス、初めて、なのに♪  
れるれる♪ んいじわるう♪ ちゅう、れるちゅ♪  
れるちゅぶ、れるちゅうう♪」

《◆正面/10cm》

ニキ63 「（下見る）や、うそ（顔見る）脱がさないで！

分かったから！ 興奮させてごめんなさいっ！

でも、だめなことだから！（下見る）あっ♪ やっ♪

（顔見る）当てないで♪ 許して♪」

ゆっくりと挿入される。

ニキ64 「お願いやめ、あ、ああ、あああああ♪」

挿入された余韻で絶頂。低音。

ニキ65 「う……うう……うそ……イ……イク……

（低）イッツ♪♪ あっ♪♪ ああああああ♪」

潮吹き。

ニキ66 「ん、くふうー♪ んふー♪ ふええええ♪」



(気持ち左右に動いてジタバタ抵抗)

ニキ67

「な、なんかへん♪ やー♪ やらあ♪ どいて♪  
もうおちんちんや♪ 入れただけでもやなのぉ♪  
奥、へんらよぉ♪」

ずぷっ。

ニキ68

「(低)んぐへあっ♪?」

そのまま1秒1回ピストン。

ニキ69

「あっ♪ ひっ♪ やっ♪ あっ♪ 奥♪ おぐ♪  
おっぐ♪ 許して♪ おう♪」

塞ぐキス。リズムカルに喘ぎながら。

《◆正面/0cm》

ニキ70

「んんん♪ んっ♪ んぐ♪ ちゅ♪ れる、んっ♪  
んん、んんん♪ れる♪ れる♪ んー♪ れる、  
れる、んっ、んぐ、んっ♪ ちゅ♪ う、ううう♪」

《◆正面/10cm》

ニキ71

「やつ、なん、で♪ はう♪ なんでえ♪ また、  
ミルク出てきちやった♪ 沢山搾ったのに、うっ♪  
おっぱい、あちゅい♪ ひっ、ひぐっ♪」

《◆左前/10cm 移動》

ニキ72

「ん違うう♪ 興奮してない♪ はー♪ 無理やり、  
エッチなことするから、はー♪ おっぱいが、  
ビックリしちゃっただけ♪ (低)うっ♪ うああ♪」

ニキ73

「おちんちん、おぐ♪ 当たって♪ ミルク、出ちゃ  
(低)おっ♪ (中)うう♪ 体質の、せいだもん♪  
はー♪ 私、エ、エッチじゃないもん♪」

ピストンゆるやかに。

《◆正面/10cm 移動》

ニキ74

「はあはあ」

ニキ75

「ふえ？ 乳首？」

《◆胸元をマイクの前に》

ニキ76

「うう……私の乳首、変、じゃないですか？」

ニキ77

「ほんとに？ や、可愛くないですよ……♪ 絶対」

（途中からずぶっとピストン再開）

ニキ78

「だって、プールの着替えで、友達の、見ちゃって、  
ていうか、見せ合いつこみたいな、ノリ？ に  
なっちゃって、あはは♪（ずぶつ）あっ♪

喋ってる時に、おちんちんだめだよ。気持ちいいから。

んっ♪ 別に、動いていいけど♪ うあ♪ あっ♪

ん、それ、でね？ んっ♪ 友達の、乳首い♪

みんな、ちっ、ちやくてえ♪ ぶっ、くり、してて♪

あ、や♪ そこきもち♪ やだ♪ あ、ああ♪ あう、

はふー♪ わ、私♪ 乳首、埋もれ、ちゃってる、

からあ♪ 恥ずかしくて、見せらんなかったのお♪」

ニキ79

「はー♪ 先輩に、めっちゃ見られてるけど♪」

ニキ80

「なに？ 乳首、立っちゃうとこ、見たいの？」

ニキ 81 「そんなの、だめに決まって——」

【★ここから左右に胸を差し出しながら喋る。

交互に乳首を吸われてるイメージ】

ニキ 82 「うぁ♪」

ニキ 83 「ふぁぁぁ♪ 吸っちゃ、やぁぁぁ♪ そんな、交互に♪ どっちが美味しいかとか、知らない♪」

ニキ 84 「せめて、どっちかにしてよぉ♪ 両方、ミルク止まらなくなっちゃう♪ ん♪ こっち？ どっち？ 右乳首のほうが味濃いつか、報告いらないです♪」

ニキ 85 「勘違い、しないで、ください♪ あっ♪ 出ちゃってる、ミルクはぁ♪ 先輩のための、ミルクじゃない、ですからね♪ ふー♪ 無理やり、吸って、舐めて、搾って♪（低）うぁっ♪ それぎもぢ♪（中）その舐め方きもち♪ はー♪ わ、悪い人です♪ 先輩がやってることは♪ れっきとした♪ はー♪ れっきとした あぁ乳首イジめないで♪」

ニキ 86 「わざとやってますよね♪ 人が喋ってる時、陥没乳首、ほじほじしないでください♪」

ニキ 87 「いいですか？ 先輩がやってることは、れっきとした、はぁぁぁ♪ んんん絶対わざとおお♪」

ニキ 88 「もう、吸っちゃや♪ 来ちゃう♪ また、来ちゃ♪ んや♪ や♪ やだ♪ やめて？ おっ♪ お願い♪ また、気持ちいいミルク♪ あったかいミルク♪ 両方出ちゃいそ♪」

スパート。乳吹き絶頂。

ニキ 89

「いいの？ 出ちゃうよ？ 先輩にかかっちゃうよ？  
えだめ♪ 飲んじややだ♪ 先輩のじゃ♪ あイク♪  
出ちゃうイクイクイク♪ ごめんなさいチクイキしま  
す♪（絶頂）うつ♪♪ ふああああん♪ はっ♪  
はう♪ や♪ イって♪ 吸っちゃ♪ 今イって♪  
乳首イってる♪ イってるから♪♪ んぐうう♪  
んふううう♪ あうう♪ 飲まないで♪ んやあ♪」

【★左右揺れここまで】

《◆正面/10cm 同じ顔の高さへ移動》

ニキ 90

「んふー♪ ふー♪」

とろけ声。

ニキ 91

「おいしかったの？ うるひゃあい♪ 先輩のせいで、  
乳首、立っちゃったあ♪」

《◆正面/0cm 甘いキス》

ニキ 92

「んちゅ、れる、れろ……れる、ちゅ」

ニキ 93

「そりや、れる、乳首可愛くなりましたけど……れる、  
ちゅ、そういう問題じゃ、ん♪ れるれる、ちゅ」

ニキ 94

「おちんちん、もつとおつきくなってる……れるれる。  
栄養たっぷりミルクで、ちゅ、元気になっちゃった  
んですか？ れる、れろちゅ……さいてーだと思いま  
す。れる、れえる、れるれる♪ ちゅう♪」

（横を向いてぼそっと）

ニキ 95

「はあ……好きにすれば、いいじゃないですか」

2秒1回まったりピストン。

《◆正面/〇〇〇 顔を向けさせられ、甘いキス》

ニキ 96

「ん♪ んー♪ ちゅ、れる……れえる、れる……  
んはあ♪ もう、びちゃびちゃ。ん、ちゅ♪ 図書室、  
甘い匂い、取れなくなっちゃいます。れる、れえる、  
れる、れえる……ん♪ れる、れえる、れえろ、  
れえる……んー♪ ちゅ♪」

《◆右耳/〇〇〇 抱きつくように移動》〈小声〉

甘い吐息。少し冷めた声。

ニキ 97

「お互い、ぐしよぐしよですよ？ 先輩は、ん♪  
替えの服、あるんですか？ はあはあ♪ ほーんと、  
後先考えてないんですね。はあ♪ あり得ないです」

1秒1回強めピストン。とろけ声。

ニキ 98

「あ、ふう♪ おちんちん、強くなったあ♪」

ニキ 99

「んふう、生意気、言つて、ごめん、なさあい♪  
はっ、ふうひ、（低）んぐあ♪」

ニキ 100

「ど、どーすれば、許して、くれますか？」

少し抵抗するが、強めに突かれて大人しく。

ニキ 101

「ん、み、耳舐め？ えー（ずぶつ）あっ♪  
します♪ しますからあ♪」

不慣れな、でも舌が這い回って気持ちいい耳舐め。

ニキ 102

「はあ、はあ♪ あむ……れる、ちゅ♪ んん♪  
れえる、れる、ん♪ 分かんない、ですよ。ちゅ、  
れる、れえる♪ 気持ちいい？ はあ、れえる、れる、  
んはああ♪ れえるれる、れる♪ んー♪ れえる」

ニキ103 「はあ♪ 私の耳舐め、気に入ったんですか？」

ニキ104 「（涙）んうう。全然、嬉しく、ないですっ」

セリフ途中からピストン再開。

ニキ105 「悪い人に、気に入られて（低）もっ♪ おっ♪

ほうっ♪ んっ、ふう♪」

ニキ106 「おちんちん、おつきくなっちゃだめ♪ あう♪

お、おまんこはあ♪ イジめちゃ、だめ、なんだよ？  
うあっ♪ これ以上、おちんちん、おつきくしない  
で？（涙）おねがい」

ニキ107 「は、はいい♪ お耳、舐めますから♪」

ニキ108 「んむ、れる、れえる♪ いっぱい舐めるから♪  
おちんちん、ちっちゃく、してね？ はあ、れる、  
れえる、ん♪ れろ、んっ♪ れえる、んっ♪  
んふー♪ れえる、れろ、れえる♪」

《◆左耳/0cm 移動》

ニキ109 「んはあ、はあ♪」

ニキ110 「こっちも？ うん♪」

ニキ111 「はあ、れるれえる、れろ、れえる♪ んん♪ れる、  
れえる♪ うそつき。れる♪ おちんちん、おつきく  
なってる。れるれる♪」

ニキ112 「うそ。さつきよりおつきい。れる♪ おまんこの  
感覚で分かる。れるれる♪ ちっちゃくしてって言っ  
たのに。れるれる♪（囁き）いじわる。れろれる♪  
れるれる♪ そこきもち♪ はあれろれるれる♪」

ミキ113

「れろれるれるる♪ え？ 出ちやいそ？」

(このページでだんだんスパート)

《◆正面/10cm すすかず向き合う》〈話し声〉

ミキ114

「だ、だめ！ だめに決まってるじゃん！ 抜いて？  
ああ♪ 赤ちゃん、できちやうよお♪ おうっ♪  
う、うゎ、動かないで♪ んやあ♪ またすぐ、  
イ、イっちゃ♪ は、はーっ♪」

ミキ115

「やめて、ほしかったら、ほ、報告っ……？ 分かり  
ましたあっ♪ お、おまんこ、イキます♪ お乳  
出ます♪ (低)ぐあ♪ (中)ふー♪ エッチなおっぱ  
いしてて、ごめんなさい♪ 先輩のこと、興奮、させ  
ちゃいました♪ (低)あっ、へっ♪ あお♪  
おおま、んこ♪ おっ♪ (中)おまんこ♪ 弱くて、  
(低)ふ、おお♪ (中)こっ、ごめ♪ ごめんな、  
(高)ひやあう♪」

(途中で男性器の呼び方を指示される)

ミキ116

「イ、イキます♪ 先輩のおちんちん (低)おっ♪  
(中)ふええ？ (恥)うう……おちんぽ♪ おちんぽ  
で♪ おちんぽでイキます♪ おちんぽでイク♪  
おちんぽ気持ちいいですからあ♪」

《◆正面/0cm 激しいピストンされながらキス》

ミキ117

「れるれるれる、むちゅ♪ 外♪ れるれる♪ 外に、  
出してね？ れろれる♪ おねがい♪ れろ♪  
おねがい♪ れる、んっ、んっ、ふっ、ん、ん、  
んぐ、んっ♪」

(この畳み掛けのまま次のページへ)

《◆正面/10cm 見つめ合う。ラストスパート》

ミキ118

「イキそ？ イく？ イく？ 抜いて？ 抜いてね？  
ほんとに抜いてね？ 抜いて？ え、へ？ 抜いて！  
抜いてよ！ 抜いてよー！ あ、や、ひゃああ♪」

可愛い声にエグみを持たせて低音に。絶頂。

ミキ119

「イク♪ イグ♪ いく、いく、いグ、いく、いく  
いくいくイグイグ♪（低／絶頂）イギますッ♪♪」

潮吹き絶頂。とろける。

ミキ120

「ひゃあああああああ♪♪」

中出し。慌てる。

ミキ121

「（下見る）だめええ（顔見る）ナカでちゃつて  
るっ」

《◆正面/0cm『やだ』で口を奪われ》

ミキ122

「んや♪ やだ——んむ、れるれる♪ んん！ れろ、  
ちゅ♪ んんん！ もう出しちゃ♪ んおっ♪」

《◆正面/10cm まだ中出しされる》

ミキ123

「ぎもぢ♪ だめ♪ あ♪ きも、ぢいの、だつめ♪  
んっ♪ 奥、無理♪ もう、精、液、入ん、ない、  
よお♪（だんだん早く）無理、無理、無理無理無理  
無理だつてばああ♪（低／絶頂）またイグ♪  
うあッッ♪ あううんぐううううん♪」



ニキ124 「うああ……いっぱい、出しちゃ、やーあ……♪」

《◆正面/0cm 脱力、どうにでもなーれなキス》

ニキ125 「あ、ああ……んちゅ、れる……れえる、れる……  
んん♪（囁き）うそつき……ちゅ……さいてー……  
れる、ちゅ……んっ……まだ、出てる……れる、  
ちゅ……（涙）初めてだったのに……れるれる……  
すっごい、気持ちよかったの……ほんと無理……れる、  
れる……おちんぽ大っ嫌い……れる、れる……気持ち  
いいキスも嫌い。ちゅっちゅ♪ 許さないもん」

言葉の割に妙に舌を絡めてくる甘いキス。

ニキ126 「れるれる、れえろれるれる、んちゅっ♪」

男性器が引き抜かれる。

《◆正面/10cm》

ニキ127 「はあ、はあ、ふう」

ニキ128 「もう、帰っても、いいでしょ……？」

ニキ129 「掃除は、先輩がやってよ……」

（そっぽを向く）

ニキ130 「むう、不機嫌にもなりますよ！ こんな、無理やり」

(顔を見る)

ニキ131 「約束どおり……秘密ですからね？」

ニキ132 「あと……これつきりです」

ニキ133 「もう触らないでください」

《◆正面/30cm》(横を向いて帰り支度な動き)

ニキ134 「帰ります」

ニキ135 「なんかまた、溜まってきちゃったし……家で搾んな  
いと」

いきなり触られ、またゆっくり搾られる。

《◆正面/10cm 近づかれる》

ニキ136 「え？ んっふいっ♪」

ぶしゅー。

ニキ137 「ああああ……んふー♪」

とろけ声。

ニキ138 「あのお♪ 人の話♪ 聞いてましたあ？」

ぶしゅー。

ニキ139 「もう搾っちゃーんやああああ♪ はー♪」

ニキ140 「(涙)これ……戻れなくなっちゃうよお……♪」

ニキ141 「おっぱい、もう許して……♪」

ぶしゅー。

ニキ142 「あ♪ ひゃあああああ♪」

(01-END 5086文字)

放課後。学校の廊下。

そそくさと帰るミキ。目の前に主人公。

《◆正面/50cm》

ミキ 143 「あう……先輩……」

《◆正面/30cm 近づかれる。顔を背ける》

ミキ 144 「お疲れ様です……」

ミキ 145 「図書委員は、ヒロナ委員長に任せました」

ミキ 146 「今日は早めに帰ろうかと」

ミキ 147 「（顔見る）へ？（背ける）い、いやですつ。帰ります」

《背けた方向から横切ろうとする動き》

ミキ 148 「失礼します」

《が、止められる。少し戻る動き》

ミキ 149 「あ、や、やだあ……」

《◆正面/10cm 顔を背ける》

ミキ 150 「うう……今日は、しませんよっ」

シャツの上から胸をつんつんされる。

ニキ 151 「ん……触らないで……あ……シャツの、上から、  
弱いと」♪ あ♪ 探さ♪ ないで、くださいっ♪」

興奮が見える吐息。

ニキ 152 「はー、はー♪」

ニキ 153 「この前から、ミルクの量が増えて、大変なんです  
よ」

《顔を見る》

ニキ 154 「多分、先輩が乱暴したからっ……多分じゃなくて、  
絶対そう！」

ニキ 155 「先輩のせいで、胸が変になっちゃったんですっ」

《顔を背ける》

ニキ 156 「いや、『期待で胸が膨らむ』って、言葉遊び  
じゃないんですから」

《顔を見る》

ニキ 157 「私が、期待してるとも言うんですか？」

シャツ越しにミルクがにじむ。

思わず甘い声。

《顔を背ける》

ニキ 158 「あっ♪」

ニキ 159 「そんなわけ、ないじゃないですか……♪」

ニキ 160 「あ♪」

ニキ 161 「無理やり、乱暴されたんですよ……♪」

ニキ162 「ん、ん♪」

ニキ163 「その気になれば、いつだって……♪」

ニキ164 「あ、ああ♪」

《顔を見る》

ニキ165 「あ、あの♪ さつきから♪ その、  
乳首、当てゲーム？ 嫌、なんですけど♪」

《顔を背ける。バレバレの嘘》

ニキ166 「や、あ、当たってませんし♪」

強めに乳首を当てられる。

《顔を見る》

ニキ167 「んっ♪ ふー、ふー♪ ざ、残念でしたあ♪  
そこはあ、乳首、じゃ、ない、です♪」

《胸を見る》

ニキ168 「ん、や♪ カリカリやーあ♪ シャツの上から、  
爪で♪ ん、ん♪」

《顔を背ける》

ニキ169 「違う♪ ぷっくりしてるけどお、乳首じゃないも  
ん♪」

《顔を見る》

ニキ170 「お願いもうやめて♪ 誰かに見られたら♪  
う、あ、出ちゃう♪ ああ♪」

《◆右耳/0cmへ移動》〈小声〉

ニキ171 「はー♪ はあはあ♪」

ニキ172 「分かった♪ 負けました♪ 乳首負けましたあ♪」

ニキ173 「初めから、乳首当てゲーム、負けてましたあ♪  
はー♪」

ニキ174 「先輩のせいで、シャツの上からカリカリするとお♪  
すぐ、乳首が、あ、勃起♪ するように♪  
なっちゃいましたあ♪」

とろけ声。だんだん絶頂へ。

ニキ175 「もう許して？ 指止めてえ？ 学校の廊下で、  
チクイキしたくない♪ おねがい♪」

ニキ176 「はー♪ はい♪ 放課後、時間あります♪  
はー♪ カラオケ？ ん♪ うん♪ 分かりました♪  
付き合いますから♪」

静かな絶頂。少し乳吹き。

ニキ177 「乳首♪ 乳首もうだめ♪ せんぱ♪ あ♪ や♪  
こっそりイくのヤ♪ カリカリ、きもち♪ イク♪  
イキます♪ チクイキします♪（絶頂）あ、ああ♪♪  
はあああああ♪♪ は、はああ♪ んっ♪ ふう♪  
ふえ♪（涙）えあ……ああ……あああ♪」

《◆右前/10cmへ移動》（胸を見る）

ニキ178 「はー♪ シャツ、乳首のそこ、濡れちゃったあ。  
どーしよお」

（顔を見る）

ニキ179 「ええ？ 先輩と腕を組んで、隠しながら？」

ミキ180 「そ、それ、周りの人に勘違いされちゃ——あっ♪  
ああ、もう♪ 乳首当てゲーム♪ やめてください♪  
絶対負けちゃうからあ♪ あああ♪」

《◆右耳/Dec 寄り添う》

ミキ181 「はあはあ♪」

ミキ182 「これで、いいですか？ はあ♪」

ミキ183 「早く、出ましょう」

ミキ184 「みんなまだ、部活と、委員会ですし……同級生に、  
見られないうちに」

ミキ185 「いいからっ……乳首濡れてるのバレちゃう。もっと  
くっついて……はあ（囁き）カラオケ、早く行こ？」

ミキ186 「はー、はー、はー♪」

場面転換。

カラオケの個室。

主人公はソファに、ミキは主人公の膝の上に座る。  
スカートの中では性器が結合している。

店員がテーブルにジュースを置いている。

ミキ、平然を装って対応。声がとろけ気味。

◆正面/20cm 奥向き

ミキ187 「あ、私オレンジです……どうも」

《振り向く》

ミキ188 「先輩は？」

ミキ189 「今いいの？」

《奥を見る》

ミキ190 「じゃあ、テーブル置いとく」

（店員に話す）

ミキ191 「ああ、ジュース以外は頼んでないです。どうも」

店員が個室から出ていく。

ちゃんと出ていくまで、喘ぎ我慢。

ミキ192 「はー、はー♪ん、はあ♪」



店員退出。

存分に文句を言う。

《振り向く》

ニキ 193

「あ、あのお♪ バレたら、どうするんですか♪  
ここ、バイトやってる子もいるんで、

噂になったら——」

ずぷっと下から深く突かれる。

ニキ 194

「あっ♪ あふっ♪ ふうう♪」

ニキ 195

「う、歌いませんっ♪」

《奥を見る 恥ずかし気》

ニキ 196

「……っていうか、歌えません……♪」

ニキ 197

「はー♪」

《振り向く スカートをめくる》

ニキ 198

「だってえ……」

ニキ 199

「スカートの中……おちんぼ……ねじ込まれてるう」

《奥を見る》

ニキ 200

「はあ♪ さっきの、店員さんから見たら……先輩の  
お膝の上に、座ってるだけ、ですけど」

《振り向く》

ニキ 201

「はあ♪ お腹、苦しいよお♪」

ニキ 202

「これ、もう抜いちや、だめですか？」

ニキ 203

「ううゝ。搾りきるまでって……」

《奥を見る》

ニキ 204 「今日も……搾られちゃうんだ……」

(少しかがんで、水筒を取る動き)

ニキ 205 「ああ……水筒は、ここに……」

ニキ 206 「いつもの、1.5リットルサイズです」

ニキ、後ろから両乳を掴まれる。

◆左やや前/100% 奥向きのまま》

ニキ 207 「あっ♪ ああ♪ はー、はー♪ そんな、あ♪  
後ろから、揉んじゃ♪ ん、ん♪」

《顔を見る》

ニキ 208 「シャツ、だめになっちゃう、からあ♪」

ニキ 209 「うん。脱がして?」

《胸を見る》

ニキ 210 「はあ、はあ」

パチン、パチン、と、ボタンを一つずつ外される。

ニキ 211 「あ♪ はあ、あ♪ ああ♪ はあ♪」

胸があらわに。興奮が吐息に出る。

ニキ 212 「ふー、ふー♪」

《顔を見る》

ニキ 213 「はい。お、おっぱい……びしょ濡れに、なっちゃいました……。ここに、着くまで……ずっと、先輩の腕、こすれて……。乳首も、勃起させられたままで」

ニキ 214 「あ、はい。歩きながら、二回、チクイキしました。  
「めんなさい」

ニキ 215 「報告、これでいいですか……?」

《奥を見る》

ニキ 216 「褒められても、嬉しくないですっ」

ニキ 217 「んん♪ 中のおちんぽは、嬉しそうですねっ。

ほんと、さいてー、ですっ。はー♪」

《顔を見る》

ニキ 218 「搾りたいなら、さつさと、搾ってくださいっ♪」

《奥を見る》

ニキ 219 「私が水筒持ってますから」

ニキ 220 「ふー、ふー♪ 1. 5リットル、満杯になるまで。

私のおっぱい、揉みくちやにでも、すればいいです」

胸を鷺掴みにされて、搾る体勢に。

ニキ、これから起こる事を想像して、息を整える。

ニキ 221 「あ、ああ♪ はー、はー♪」

ぷしゅーっと、ゆっくり何度も搾られる。

ニキ 222 「（低）ああああ……んふー、ふー♪ ひああ♪

ああああ♪ ふーー♪」

ニキ 223 「その……後ろから抱きしめながら、お乳搾るの……

（低）あ、はあああ♪ ふー♪」

ニキ 224 「恋人っぽくて、めっちゃやです」

ニキ 225 「ああああ♪ そんな、抱きしめないで？ 動かない

で♪ い、今、入ってるから♪ はー♪」

キスしよ?　　っと顔を向けられる。

《顔を見る》

ニキ 226 「はー♪ ふえ? うん♪」

なんだか恋人のような、甘いキス。

《口元へと顔を向ける。キス》

ニキ 227 「ん、ちゅ♪ れる、ん♪」

時折、ミルクを搾られて、快感がキスに混ざる。

ニキ 228 「れろれる、ちゅ♪ ん、んんん♪ んふー♪

恋人っぽいキスも、なんかヤです。れる、れる、れえる、ちゅ♪ んんん♪ はああ♪ はむ、ちゅ、れえる、れろれる♪」

《◆左やや前/10cmの位置に戻る。奥を見る》

ニキ 229 「はあはあ♪」

ニキ 230 「(低)下から、ぐりぐり来るう」

ニキ 231 「先輩の体温、あっつ……ああ♪ かたあい♪」

ニキ 232 「ああすー♪ (低)おっ♪ おひっ♪」

ニキ 233 「おちんぽ入れながらあ♪ 両乳首、可愛い可愛いっ  
てするの、それ嫌い♪ (低)あっ♪ やヴあい♪」

ニキ 234 「はー、はー♪」

《顔を見る》

ニキ 235 「ふえ〜っ」

「これハマっちゃった？」

(セリフに合わせて、首を振るような動き)

ニキ 236 「違う♪ 違うっ♪ 全然ハマってない♪」

ニキ 237 「おちんぼ嫌いだもん♪ エッチなことしてくる先輩も嫌い♪ 気持ちいいの大っ嫌い♪」

ニキ 238 「でもお♪ 言う事聞かないと♪ また、カリカリつて♪ チクイキさせられちゃうから♪ はー♪」

ニキ 239 「いいから♪ 早くミルク搾り、終わらせてください♪」

ニキ 240 「あ、あ♪ ふああああ♪ ふいー♪」

さらにキス。

ニキ 241 「はあ♪ またあっ」

《口元へと顔を向ける。キス》

ニキ 242 「ん♪ ちゅ♪ れる、れえる♪ んん♪」

キスしながらお話。

ニキ 243 「先輩、ちゅ、今日はそんな、乱暴しないんですね。

はあ、れえるれる。搾り方も、優しいし。はあ♪

おちんぽも、そんな動かしてないし。ん♪ ちゅ♪

キスもなんか、ちゅ♪ れる、れる、れえる♪

……ちゅう♪ はあ、はあ……これはこれで、

なんかヤです……頭バグる」

とっても優しいキス。

ニキ 244 「んん♪ ちゅ♪ やだ♪ ちゅう♪ やーだあ♪  
あむ、れる、ちゅ♪ 違う♪」

ニキ 245 「先輩は、悪い人だもん……んちゅ♪」

ニキ 246 「悪い人らしく、もつと嫌われるように、乱暴してく  
ださいよっ♪ ちゅ♪」

ニキ 247 「それなら私も、すがすがしく、店員さん呼べますか  
ら……♪」

舌をくるくると絡ませ合うように。

ニキ 248 「はあ、れえる、れる、れる、れえる、んちゅう♪」

ニキ 249 「やっぱこのキス、やです……♪」

ニキ 250 「ん♪ 気持ちよくないもん♪」

ニキ 251 「んー、ちゅ♪」

口元から逃げる。

なぜかドキドキして顔を見れない。

《◆左やや前/10cmの位置に戻る。奥を見る》

ニキ 252 「はー、はー♪」

ニキ 253 「一人でするより、ミルクの出がいいのも、すごい  
シャクです」

ニキ 254 「なに上手になってるんですか」

ぷしゅーっと優しく搾られる。

ニキ 255 「んにゃ♪（低）ああああやばああ♪ ふー♪  
ふええ♪」

ニキ 256 「この関係、続けてたら……絶対変になる……♪」

ぶしゅー。

ニキ 257 「あああ♪ はー、はー♪」

《顔を見る》

ニキ 258 「あのっ」

ニキ 259 「もうほんと……今日限りに、出来ませんか……？」

ニキ 260 「え？ いいんですか？」

ニキ 261 「うう……分かってましたけど……」

ニキ 262 「じゃあその……条件って、なんですか？」

一回もイかなければ……と条件を告げられ。

ニキ 263 「え……一回も……？」

《奥を見る》（ぼそっと）

ニキ 264 「や、私なら大丈夫、平気」

《顔を見る》

ニキ 265 「分かりました。私が一回もイかなかったら……もう、この関係はやめてください」

ニキ 266 「水筒がいっぱいになるまで、ですね？」

ニキ 267 「だからって、いきなり乱暴するのは、なしです！  
ずっと優しいままで！ いいですか？」

ニキ 268 「よし。言質取りました」  
げんち

《奥を見る》（ぼそっと）

ニキ 269 「こんな優しい攻めなら……大丈夫っ……私に有利だ！」

《顔を見る》

ニキ 270 「じゃ、じゃあ……どうぞ？」

ニキ 271 「好きにしてくださいっ」

さっそく口を奪われる。

《口元へと顔を向ける。キス》

ニキ 272 「は、んむう♪」

優しくトントンと突かれる。

リズミカルに甘い喘ぎ。とろけるキス。

ニキ 273 「れる、ん、ん♪ れろれる♪ んっ♪ んぐっ♪  
んっ♪ ふー♪」

キスしながら絶頂へ向かう。

ニキ 274 「れる、れる、れる♪（低）んおっ♪ んふっ♪  
んっ♪ んゝ♪ ん、ん、んん♪」

潮吹き。バレバレの絶頂。

ニキ 275 「（絶頂）ンッッ♪ んんんンッ♪」

止めずにキス。悔しそう。

ニキ 276 「んふー♪（涙）んゝ♪ んん！ れる、れえる、  
れる、んっ♪ んんっ♪ れる、れえる♪ ちゅう」



《口元から少し離れて、見つめ合う》

ニキ 277 「ぶあ……はあはあ♪」

(右に左に顔をそらしながら、とろけた声で嘘)

ニキ 278 「イ、イって、ない♪ イって、ません♪

いい今の潮吹きは、た、体質ですから♪

残念でしたあ。勘違いするなんて、先輩も女が分かってませんねーなんて、あは、んっ♪ はー♪」

《◆左やや前/100%の位置に戻る。奥を見る》

ニキ 279 「はあ♪」

ニキ 280 「それより先輩、ふう、手が、止まってますよ」

ニキ 281 「さっさと、ミルク搾り、終わらせてください♪」

絶頂したばかりの女性器にずぶり。

(気持ち跳ねる動き)

ニキ 282 「うあっ♪♪」

《顔を見る》

ニキ 283 「お、おおおちんぽしながらは、やめてよ!」

ニキ 284 「今、イって、じゃなくてっ、ちよ、ちよっと、敏感、ですから。一回、おちんぽは、動かないで。うん。

おっぱい、だけに、して? (涙) おねがい?」

ニキ 285 「ちんぽ」

息を整える。

《奥を見る》

ミキ 286 「はー、ふー♪」

乳首をイジられる。

ミキ、体をくねらせて必死に快感に耐える。

【「ここから、上下左右、自由な方向を向いて、

快感に耐えるような動き】

ミキ 287 「あっ♪ んっ♪ ふー♪ は、はあはあはあ♪」

ミキ 288 「へ、平気ですっ♪ ふー♪ ち、乳首♪ 撫でられ、  
てる、だけ♪ ですもん♪ はー♪」

ミキ 289 「爪でカリカリも、されてないし♪ おちんぽも、  
奥で、んっ、動いてないし♪ あ♪」

ミキ 290 「指先で、はー♪ 勃起乳首♪ 可愛いねって♪  
されてる、だけ♪ はあはあはあ♪ あ、はふう♪」

吐息が震えている。

ミキ 291 「はー♪ ふー♪ 余裕、ですっ♪」

ミルクが漏れる。

呼吸を整えながら、耐える。耐える。

ミキ 292 「ふー♪ んっ♪ あああ♪ んふうっ♪」

もうギリギリ。自分に言い聞かせて耐える。

ニキ 293

「私なら平気。大丈夫。大丈夫。乳首だけで、イカ、イ、イかない、もん♪ はあはあはあはあはあ♪ あ、あ、あ♪ や、やだ♪（顔見る）やっぱやだ♪ 止め、や、い、一回、とめて♪ 乳首とめて？ とめてよ♪ もう先輩嫌い♪（奥見る）はあはあはあはあはあ♪」

絶頂。何度もミルクを吹かされて体が跳ねる。

責めが止まらない。

ニキ 294

「（絶頂／低）あっ♪♪♪ あっ♪♪ あっ♪♪♪  
（中）あああっ♪♪ イっ♪ イキ♪ ひゃ♪  
（高）あ、あ、あ♪（顔見る）や、ま、待って♪  
今、だ、め♪ だめ♪ イ、イって♪ イってない♪  
けど♪ 乳首♪ しこしこ♪ だめ♪ だめ♪ だめ♪  
（奥見る）だめ♪ だめえ♪ だっめ♪ だめ♪♪」  
（だんだん上を見る。振り返って絶頂）

ニキ 295

「（高）あ、あ、あ、あ、ひゃ、あ、あ、は、あ、  
あああああああ♪」

（一気に下を見る。ぐったり放心）

ニキ 296

「ひっぐああ……はああ……♪ はあああ……♪」

【ここまで、快感に耐えるような動き】

《顔を見る》

ミキ 297 「ふう、はあ♪」

いった？

ミキ、首を横に振る。

(呼吸の音場だけで首を横に振ったことを表現)

ミキ 298 「はー、はー♪」

ミキ 299 「イ、いってない……♪ イってない、よお♪」

ミキ 300 「乳首い、すごかったけどお♪ 体質、だから♪  
はー♪」

ミキ 301 「今ので、ミルク、めっちゃ出たし♪ あと少しで、  
私の勝ち♪ えへへ♪」

座りバックの体勢に。

《◆正面/20cm へ。奥を見る》

ミキ 302 「あ、はあ♪ はえ?。」

ミキ 303 「今度は、おちんぼと乳首♪ 同時攻撃ですかあ?」

ミキ 304 「まあ、あと少しなんで♪ これくらい♪ ふー♪  
が、我慢できます♪」

《振り返る》『くだ／さい』で突き上げ。

ニキ 305

「絶対イかないんで♪ かかってきてくだ——  
(低)さいっ♪♪♪」

そのまま後ろからピストン再開。

《奥を見る》

ニキ 306

「ひっ、ひい、ひぎ♪ うっ、あっ♪」

座りながら上下に。

ニキ 307

「い、いき、なりっ♪ とかつ♪ あ、あっ♪  
さい、てー♪ せんばあい♪ んっ、焦ってるう♪」

すぐ絶頂の兆候。煽っという弱い。

ニキ 308

「はあ♪ はあ♪ んっ♪ あっ♪(低)あっ♪  
はっ♪ あ、あ、あああ♪」

潮吹き絶頂。ピストン止まる。

ニキ 309

「(低)んっぐううい♪♪♪」

早い呼吸。呂律の回らない声で否定。

ニキ 310

「はあはあはあ♪ イつれない♪ おまんこ、イつれ  
なあいい」

ピストン再開。今度は乳首。

ニキ 311

「ああ♪ はっ♪ あっ、あう、あっ、はっ♪  
(高)あ、あ、あ、また乳首い♪ あ、あ、あ、や、  
あ、あ、や、や、やだ、や、あ、あ、あ♪」

乳吹き絶頂。ピストン止まる。

ニキ 312

「(高)あああああ♪♪♪」

ニキ 313 「も、もう、やめれえ♪ イ、いつて、ない、け  
ろお♪ もう、らめ、らよお〜♪」

ピストン再開。

ニキ 314 「あ、あ、あああ♪ らめ♪ らあめえ♪ あつ、  
あつ、はつ、ああ♪」

ニキ 315 「へ？ あ、あと、ちよつとお？」

ニキ 316 「ほ、ほんとだあ♪ 水筒、あとちよつとお♪」

ニキ 317 「あと一回♪ はあ♪ あと一回耐えれば♪」

ピストン早くなる。スパート。

《振り返る》

ニキ 318 「あつ、あつ、ひつ、あつ、あ、あ、あ♪ ミルク、  
出します♪ これで、私の勝ち♪ い、一回も、  
いつてないもん♪ えへへ♪」

《奥を見る》

ニキ 319 「は、は、あ、あ、ああいっばいミルク出ちやう♪  
またイキそ♪ あ、や、イかない、けど♪ おまんこ  
やばい♪ やばいやばいやばい、はあああ♪」

絶頂。乳吹き。潮吹き。

ニキ 320 「（低）ひつぐうううう♪♪」

ニキ、手を滑らせ、水筒が倒れる。

ニキ 321 「んへ？？！ あ、ああああー！？ うそー？？」

超必死に早口で弁明。

《振り返る》

ニキ 322 「や、これ、私、あの、こぼしちゃって、でも、でも、  
いっぱい、いっぱいになってましたよ？ だめ？  
だめなの？ やり直し？ ほ、ほんとにやり直し？  
え、や、やや、やだっ」

ピストン再開。

《『やだやだ』で奥を見る》

ニキ 323 「やだ！ やだ！… もうおちんぽやだああ！」

逆ギレしながらイク。

ニキ 324 「あっ、あ、ああっ♪ イき、イきました♪ ごめん  
なさい♪ イきましたあ♪ とまつ♪ 止まって♪  
(怒) イった！ イった、イったあ！… イったって  
言ってるじゃん！…！」

ニキ 325 「ああまた、イギます♪♪♪」

ニキ 326 「(低) おっ♪♪ おおおっ♪♪」

潮吹き。

ニキ 327 「ふ、ふええ♪ イったあ♪ お潮吹きましたあ♪」

ニキ 328 「んひっ♪ また乳首♪ それ♪ カリカリ♪ 乳首  
カリカリ弱いれす♪ ミルク出ちやいまひゅ♪  
(高) や、や、あ、あああ♪ 乳首弱くてごめんなさ  
い♪ いくいくいく♪ チクイキしま、んひいい♪」

乳吹き。

ニキ 329 「ひゃあうう♪♪♪ くはあっ♪ はー♪」

《◆左やや前/10c 抱きつかれ。顔を見る》

ニキ 330 「はーはー♪」

ニキ 331 「ま、待って♪ 水筒♪ 水筒持ってない♪ これ、  
終わんない♪ ずっと終わんないよぉ♪」

ニキ 332 「も、許して？ お願ひ？ お願ひ？

おねが、あつ♪ おまんこイク♪」

潮吹き。

ニキ 333 「（低）おっ♪ ほああああ♪」

早口で懇願。このままだと壊れるっ

（文字通りじゃなくていいです。必死さ強調）

ニキ 334 「負けました。言うこと聞く、聞きます。ごめんなさ、

ごめんなさいもう、乳首、おまんこも、ダメなんです。  
す、す、好きです。先輩のこと大好きです。愛して  
ます。大好き、だから、うん、だからあ、恋人に、  
乱暴しちゃ、だめだよ？ ほ、ほんと、逃げない。

恋人だから。うん。うんうんうん。普通の、カップル  
みたいなエッチ、しょ？ いっぱいイカせるのは、  
私壊れちゃうから、ほんと（低）おっ♪（中）ほんと  
今だめだから！ おねがい。普通のエッチがいい。

おねがい？ 恋人だから。おねがい？ はあ、はあ」

攻めが止まる。

ニキ 335 「いい？ いいの？ 次で最後？ ほんとに？」



ぼそつと、安堵。

ニキ 336 「よかったあ……」

(恋人になるのは本意ではない)

ニキ 337 「うん♪ いいよ♪ ニ、恋人になります♪

お、おお、おちんぼ♪ 後ろからいっぱい、来てくだ  
さい♪」

またバックの体勢。

《◆正面/20cmへ一呼吸で移動。奥を見る》

ニキ 338 「はあ♪」

後ろから力強いピストン。

ニキ 339 「(低) ああぐ♪ あっ♪ ぐっ♪ あっ♪

(中) はっ♪ あっ、ひっ、あっ♪ (高) ああ♪

あう♪ うっ♪」

(ピストンのリズムに合うように途切って発声)

ニキ 340 「はあい♪ いっぱい、イって、まし、たあ♪

(低) あっ、あっ、ああ♪」

ニキ 341 「回、数？ わ、わかん、ない、です♪ けどっ♪

(低) おっ、ほう♪」

ニキ 342 「ちく、びと♪ おま、ん♪ おっ♪ 同じ、くら

い、たく、さん、イキ、イツ、イキ、ましたあ♪」

ニキ 343 「はあ、はあ♪」

ニキ 344

「カラ、オケ、えへ♪ 私の、ミルクとお♪  
し、潮吹きで♪ あああ♪ ぐちゃぐちゃ♪ あ♪  
ぐひやぐひやにひて、ごめんなひやあい♪」

《振り返る》

ニキ 345

「ふっ、んっ、はあ♪」

ニキ 346

「最後おっ♪ 最後、です、からあ♪ 私の、  
よ、弱い乳首と、おまんこ♪ 一緒に、お仕置きし  
て♪」

だんだん早く、強いピストン。

《奥を見る》

ニキ 347

「あっ♪ あっ♪ はっ♪ あっ、あっ、あああ♪」

ニキ 348

「おぐ♪ おぐズンズン♪ すっおっ♪ おっ♪  
おっ♪ おおおお♪」

呂律が回らなくなっていく。

ニキ 349

「ミ、ミルク♪ 出っ放しに、なっちやったあ♪  
きもぢ♪ きもぢいいれす♪ いってるちくび、  
かりかり、かりかりぴゅっぴゅ、とまなくなっちや  
うよおおお♪」

ニキ 350

「あっ、あっ、はっ、あっ、ひっ♪」

(そのピストンのリズムのまま次ページ)

《振り返る。早い吐息》

ニキ 351

「はあはあはあ♪」

ニキ 352

「へ？ はあはあ、ん、はい！ 中！ 中でいいです！

こ、恋人に、なっちゃったもん！ あっ、あっ♪

中出し、されちゃうのが、ふ、普通ですもんね！

（涙）う、うう、ううううう。中出し、いいですよ！

受け入れます！ ちんぽ奴隷になります！ おちんぽ

ほしいです！ 出して♪ 出して♪ えっぐいの、

いっば、《奥見る》イク♪ いっく♪ いく♪ いく、

いく、いく、いぐ♪」

(だんだん低音に)

ミキ 353 「あ、あ、あ、あ、は、あ、ああああああ♪」

ミキ 354 「出してくらひやあああい♪」

絶頂。射精。

どすつ、どすつと、ゆっくり何回も強い腰打ち。

ミキ 355 「あッッ♪♪♪ あぐっ♪♪♪ ひぐあ♪♪♪

はああああああ♪♪」

快樂と悲しみが混ざった余韻。

ミキ 356 「あ……ああ……あ……あああ……♪」

ずるんつと、男性器が抜ける。

ぷしーつと追い潮吹き。

ミキ 357 「ひっぐ♪(低) うあああ……♪」

主人公、ミキを抱きかかえてキス。

《◆正面/0cⅢ ゆっくり振り返ってキス》

ミキ 358 「んうう……れる、ちゅ」

(気持ちよさと悔しさが混じったキス)

ミキ 359 「(涙) んんん……れる、れる……ん、んん……れえ

る、れる……れる、んん……んん……れえる、れ

る……ちゅう……ちゅっちゅ……ん、ちゅう」

《◆正面／＼お目撃しつめ合つ》

ニキ 360 「はあ、はあ」

《下を見る》

ニキ 361 「うああ……おまんこから、ぐちよくって」

ニキ 362 「これ……薬飲んでなかったら、絶対やばかった」

《顔を見る》

ニキ 363 「言いませんよそんな」

ニキ 364 「言ったら、絶対中に出すじゃないですか」

ニキ 365 「結局、出されましたけど……うう」

ニキ 366 「はあ……」

ニキ 367 「さっきの私、やばいこと、言っていましたよね」

ニキ 368 「分かってますよ。恋人になるって……っていうか、

奴隷とか、言いました？ やば」

ニキ 369 「あれは、その……ずっとイキっぱなしで、ほんと、意識飛んじやうかと思って……とめてほしくて」

ニキ 370 「でも……私……あの……私」

ニキ 371 「……え？ この関係は、終わり？」

ニキ 372 「いきなり、どうしたんですか？」

ニキ 373 「あ、ああ……あの時……こぼす前に、水筒いっぱいになってたんですね」

ニキ 374 「いやでも、その前から私——」

《◆正面/0cm 口を奪われる》

ニキ 375 「んっ、ちゅ……れる、ちゅ……ちゅっ」

《◆正面/10cm 見つめ合う》

ニキ 376 「（一呼吸）」

ニキ 377 「はい……一回も、イってません」

ニキ 378 「先輩がそういうなら……約束どおり……これつきりです」

ニキ 379 「（一呼吸）」

ニキ 380 「……いじわるじゃないですよね？　ほんとに？」

ニキ 381 「いや、まあ……それならそれで……」

ニキ 382 「いやいや、今更謝るのも、なんか……学校で搾ってた私も私だし」

ニキ 383 「まあ、その……おっぱいも、スッキリしましたし」

ニキ 384 「……気持ち、よかった、ですよ？」

ニキ 385 「……ん何言ってるんだ私。励ますのも変ですよね！」

ニキ 386 「中出しとか最悪だし！　ほんと、ダメですからね？  
「うっうっ」とー」

ニキ 387 「次、彼女さんが出来たら、もうちょっと優しくした  
ほうがいいと思いますー」

《顔を背ける》

ニキ 388 「……先輩のおちんぽ……ほんと、女の子泣かせなん  
で……はー、はー」

《胸を見る》

ニキ 389 「あ、またミルク漏れてきちゃった」

《顔を見る》

ニキ 390 「ほんと、困ったおっぱいですよね！ にへへ」

ニキ 391 「拭いたらもう帰りますっ」

ニキ 392 「今まで、その……どうもでした」

ニキ 393 「出来れば……優しい先輩と、出会いたかったです」

口を奪われ、とても心地の良いキス。

困惑する声が漏れる。

《◆正面/0cm 口を奪われる》

ニキ 394 「ふえ？ ん♪ ちゅ……ん？ ちゅう……ん♪  
れる、れる……ん♪ はむ、れる……ちゅう♪」

《◆正面/10cm 見つめ合う》ぼーとする。

ニキ 395 「はー、はー、はー♪」

《顔を背ける》はっとする。

ニキ 396 「か、帰りますー！」

《◆正面/30cm 遠ざかって、顔を見る》

ニキ 397 「掃除は、先輩がなんとかしてくださいっ」

《顔を背ける》

ニキ 398 「……さよならっ……はあ、はあ♪」

ニキ、服をかき集めて、急いで出ていく。

ミキ、玄関を開ける。

《◆正面/30cm》

ミキ 399 「あ……早く入ってください……」

主人公、家に入る。

《◆正面/30cmから右耳/30cmへ一呼吸》

ミキ 400 「（一呼吸）」

玄関が閉まる。

《◆右耳/30cmから正面/30cmへ一呼吸》

ミキ 401 「（一呼吸）」

玄関前でお話。

ミキ 402 「お、お久しぶりです……」

ミキ 403 「なっ、笑わないでくださいよっ」

《顔を背ける。恥ずかしそう》

ミキ 404 「先輩がメイド服着ろって」

ミキ 405 「着ないと、家に行かないって」

《◆正面/0cm 『あ……』で顔を見て、近づかれて、

優しいキス》

ミキ 406 「あ……ん、ちゅ……ちゅ……れる、ちゅっ」



服の上から乳首をいじられる。

か弱くて甘い声。

《◆正面／10cm》

ニキ 407 「あっ♪ ああ♪ はー♪」

冷静を装うが、興奮が端々に感じる。

ニキ 408 「はい。そこが、乳首です。ふー♪」

ニキ 409 「久しぶりなのに、一発で当ててきて、ん♪ ほんと  
シyakですネ。はー♪」

ニキ 410 「まあ、文化祭も終わりましたし、ふう♪ もう使わ  
ないんで……汚しても、いいですけど」

執拗に乳首を撫でられる。

ニキ 411 「んん♪ そうやってすぐ♪ 勃起乳首にさせてく  
るう♪ はあ♪ ほんと……先輩嫌いです……♪」

《◆正面／0cm 口を奪われる。優しいキス》

ニキ 412 「んん♪ ちゅ、れる、ちゅう♪ はあ、ちゅ♪  
ちゅう♪」

ニキ 413 「これつきり、とは言いましたけど、ちゅ、  
徹底しすぎなんですよ」

ニキ 414 「れるれる。図書室には来ないし、ちゅ……いつもの  
下校時間も見かけないし……最近、部活もサボってる  
でしょ」

ニキ 415 「ふふ♪ 顧問に聞きました♪」

ニキ 416 「見つけたら連れてこいって、怒ってましたよ？」

ニキ 417 「ちゅ♪ くす♪ 私もそんな部活、行かなくて正解だと思います♪、ちゅ♪。」

ニキ 418 「でも、やっと会ってくれたあ……♪。」

ニキ 419 「はい。言いつけどおりに、しましたあ♪ あむ、れる、れえる、れる、ちゅ♪、れる、ちゅう♪。」

《◆正面/10cm》

ニキ 420 「触って……？」

言い方。

ニキ 421 「むう……（恥）触って、ください」

（ちよっと下見て、また顔を見る）

ニキ 422 「にこ、もう……やばいの♪。」

ニキ 423 「スカート、上げてますから……お好きに」

ゆつくりと指が挿入される。

《◆正面/0cm》

ニキ 424 「あ♪、ん♪、ん♪、はー♪、指、あったか♪  
はー♪。」

優しくえぐられながらキス。

ニキ 425 「ちゅ、れる、れえる♪、ん♪、れる、ちゅ、  
（低）ん♪、ん♪、ん♪。」

ニキ 426 「中、ぐちよぐちよ？、ん♪、それは先輩がつっ  
あっ♪、やめないで♪、そのまま♪、ん、ん♪。」  
ニキ 427 「本気汁まみれで、ごめんなさい♪。」

ニキ 428 「はー、はー♪」

ニキ 429 「二ヶ月、三ヶ月ぶり？ 先輩が消えて、せいせいしたと思ったのに、あ、ああ♪ 勉強、全然集中できなくて♪ はー♪ 体が、あ、体が変なんですっ♪」

ニキ 430 「あ、や、えっと♪ 体っていう、のは♪ はあはあはあ♪（恥）おまんこ」

ニキ 431 「おまんこ……♪」

喋ってる最中に二本目が入る。

ニキ 432 「今先輩に、指一本で（つぶつ）あっ♪ ああ♪ 指二本♪ 今、指二本で、えぐってもらってるとこ♪」

手マンで絶頂に近づく。

ニキ 433 「うん♪ 変になっちゃった♪ あ、きもち♪ きもちい♪ そこ♪ うん♪ 私の弱いとこ、覚えてくれてるんだ♪ ああ♪ はい♪ 全部当たってます♪ そこはあ、おまんこが、潮吹きしたくなっちゃうとこです♪（低）ああイク。マジでイク。めっちゃ吹く。お、お潮、吹いていいですか？ いく♪ いく、いく、いくいくイッあっ♪」

寸止め。

ニキ 434 「あ……あ、あ……なんで？ なんで止めるのお？」

ニキ 435 「いじわるやーあ♪ 分かってるくせにい」

《◆正面/10cm 甘い吐息を出して移動》〈話し声〉

ミキ 436 「はあはあ♪」

ミキ 437 「会いたいつて連絡してから、今日までの一週間……  
言いつけどおり、毎日オナニーしましたよ?」

《◆左耳/0cm 『えっと』で移動》〈小声〉

ミキ 438 「えっと……一週間で、いった回数はあ」

ミキ 439 「乳首が……七十回くらい」

ミキ 440 「おまんこは……ゼロ回です」

ミキ 441 「（涙）だって乳首しかだめって! ううう。  
ねえ。もう辛い。おちんぽしよ?」

ミキ 442 「ね? ね?」

ミキ、腰をすりつけながら懇願。とろけ声。

ミキ 443 「おちんぽ♪ おちんぽしたい♪ 連絡してから、  
ピル飲んでるから♪ はー♪ ちょうど今日からあ、  
生で、おまんこイジメ、し放題ですよお?」

ミキ 444 「入れたら絶対気持ちいいおまんこになってます♪」

ミキ 445 「早く♪ 早く♪」

ミキ、お姫様だっこされて寝室へ。

《◆左前やや下/10cm お姫様だっこな位置に》

〈話し声〉

ミキ 446 「ん、うああ♪」

ミキ 447 「あはは♪（恥）お姫様だっこされちゃった」  
（ちよつと奥見て、また顔見る）

ミキ 448 「うん♪ ベッドあっち♪」

歩く。高まる興奮。

ニキ 449 「はあはあはあはあ♪」

《◆正面/0cⅢ だっこされながら顔を近づけキス》

ニキ 450 「先輩♪ ちゅ♪ ちゅう♪ ちゅ♪」

《◆左前やや下/10cⅢ お姫様だっこな位置に》

ニキ 451 「くすくす♪ チューしてたら歩けないか♪ ごめん  
なさい♪」

歩く。

ニキ 452 「はあはあ♪」

ベッドに寝かせられる。

《◆正面/10cⅢへ寝かせられるような動き》

ニキ 453 「ん？ うん。部屋片付けた」

《◆正面/0cⅢ 自然にキス》

ニキ 454 「ちゅ。ヤバかったし。ちゅ、れる……れえるれる、  
れる、ちゅ」

主人公、ズボンを脱ぐ。

《◆正面／10cm 下を見る》

ミキ 455 「はー、はー♪」

ミキ 456 「うわ♪ やっぱ、おつきい♪ 反り返ってるう」

男性器があてがわれる。

ミキ 457 「ふー、ふー♪」

ミキ、腰をへこつかせて必死。

ミキ 458 「早く♪ 早く♪」

ミキ 459 「あとちよつとで、先っぽ入る♪」

ミキ 460 「あ、あ♪」

《顔を見る》

ミキ 461 「ね、ねえ♪ なんで入れないの？ もうお預け

やーあ♪」

乳首を爪で何度も弾かれる。

ミキ 462 「あっ！（高）あ、あ、あ、あああ？！ 乳首だめ♪  
もうチクイキやです！ う、あ、あ、あああああ♪」

ミキ 463 「先輩に、たくさん調教されて、あ、ああ♪ 絆創膏  
なしじゃ、外、出れない乳首になりました♪」

ミキ 464 「ああカリカリやば♪ はあ♪ 乳首オナニーする時も、  
先輩のこと思い出して、ふー♪ 服着たまま、上から  
カリカリするの、ハマっちゃいました♪」

ミキ 465 「（涙）でも、でもお。何回チクイキしても、おまん  
こずっと寂しくて！ イってるのに、イってないみた  
いな感覚で！ ずっと、ずっとずっとずっと辛かった  
です（高）ああ乳首イク♪ うああああ♪」

ニキ 466 「はー、はー♪」

ニキ 467 「乳首イジりながら、ずっと待ってました♪」

メス声で懇願。

ニキ 468 「私は、先輩専用のオナペットメイドです。一週間も我慢できない、よわよわおまんこを……先輩の、ふー♪ 先輩の、かっこいいおちんぽで♪ お、お仕置き♪ してください♪♪♪」

一気に奥へ。すぐ絶頂。

《◆右前/100%抱かれる》

ニキ 469 「あ、ああ♪（低）ひつぐああああああ♪♪」

気絶。

ニキ 470 「……、……、……♪」

ピストンで起こされる。

ニキ 471 「あっ♪♪、めんなさい♪ ガチイキしました。ちょっと飛んでました。ふー、ふー♪」

1秒2回ほどのねっとりピストン。

とても嬉しそうに喘ぎ。

ニキ 472 「はっ、あっ、ああ♪ んふ、あっ、ああ♪ えへ、あっ、ああ♪ やっぱきもちい♪ あっ、あっ♪ うん♪ きもちい♪ んっ♪ すき♪ んっ、んっ、はっ、あっ、あっ、はっ、あっ♪」

《◆正面/10cm 見つめ合う》

ニキ 473 「チューしょ♪」

リズムカルに喘ぎキス。静かに絶頂報告。

《◆正面/0cm》

ニキ 474 「んっ♪ ちゅ♪ んちゅ♪ んっ、んっ♪ れる、

れるれるる、れるれるる♪ あー締まる。んっ、

ちよっとイク。すみませ、イキます。ん、んん♪ れ

ろ、ん、んっ♪ ちゅ、れる、んっ、れる、れる♪」

《◆正面/10cm》

ニキ 475 「」奉仕、ベロチュー?」

ニキ 476 「うん♪ いいよ♪」

ニキ 477 「舌先、ベーっとしてよ。」主人様♪」

相手の舌をフェラするようなキス。

《◆正面/0cm》

ニキ 478 「はあむ♪ あむ♪ あむ♪ ちゅっちゅ♪ んん♪

あゝむっ♪ あむっ♪ んふふ♪ 舌引っ込めない

でよ♪ むっ♪ あむ♪ ほらわざと引っ込めてる♪

しゃぶれないじゃん♪」

ニキ 479 「ねーしゃぶらせてっ。」

ニキ 480 「ふふ♪ ああーむっ♪ んふ♪ あむ、あむ♪

んちゅうう、ぷあ♪ んべーー♪ れるえるえる♪」

舌先をくるくる舐め回すようなキス。

ニキ 481 「んれえるれえるれえるれえる♪ れろれろれろ♪

れえるれえるれえる♪ んちゅううう、ちゅぽん♪」



ニキ482 「はー♪ きもちいね♪ あっ、はあ♪ 幸せえ♪  
はあ♪ うん♪ ずっとおちんぽ、欲しかったあ♪  
にへへ♪」

ニキ483 「昨日とかヤバかったよ？ チクイキしたら、潮も  
吹いちゃってさ♪ あはは♪ おまんこ触ってないの  
に、ぷしゅっぷしゅって♪ イクのを禁止された、  
台無しの潮吹き♪ このベッドの上で、いっぱいして  
ました♪ あイク（甘イキ）はー、んはー♪」  
ニキ484 「もう簡単に吹くようになったあ♪ おまんこ  
大喜びしてる♪ んっ♪ エッチじゃないもん♪  
体質だもん♪ んっ、はあ、あっ、あ、ああ♪」

ちよっと意識が飛ぶような喘ぎ。

ニキ485 「あっ、あっ、あ、あ、ああ♪」  
ニキ486 「ごめんなさい、またイキました。事後報告ですみま  
せ、んふー♪ 次はちゃんと報告してから、イキま  
す」

言ったそばから絶頂。

ニキ487 「あ、あ、あ、ああそこすぎ。ん、イク。お潮出る。  
（低）出る。マジで出る。あ、ああああ♪ ちんぽで  
潮吹きかき出して。あ、あ、あ、もっと出る。あ、あ、  
ああ止まんないのやばあ、きもち。おっ。あ、あ、  
んふーー♪ ふーー♪」

ニキ488 「にへ……♪ い、いっぱい、イっちゃったあ……♪  
はー♪ きもちい♪ はー、はー♪」

ピストンしながら、見つめ合う。

《◆正面/10cm》〈話し声〉

ニキ 489 「はー、はー♪」

ニキ 490 「おっぱいですか？ いいよ♪」

ニキ、布をズラして胸を見せる。

ニキ 491 「これ♪ 安物だし、ほら♪ 下に引っ張ると、すぐおっぱい出ちゃうの♪ にへへ♪」

ニキ 492 「ミルクまみれのおっぱい、ちゅーちゅーしますか？」

《◆胸元をマイクの前に/10cm》

ニキ 493 「召し上がれ♪ 〴〵主人様♪」

【★ニこから左右に揺れながら喋る。

交互に乳首を吸われてるイメージ】

ニキ 494 「ふあ♪（高）あああ♪ あ、あああ♪ す〴〵♪

はああ♪ 搾られるの、しゅきい♪ ああ、はあ、

ああああああ♪」

ニキ 495 「全部♪ 全部、先輩のための、ミルクですから♪」

ニキ 496 「じゅるじゅる飲んで、うあ、舐めしやぶって、

搾ってほしいれす♪」

ニキ 497 「（高）あ、ああ♪ は♪ あっ♪（低）うあっ♪

あああ♪ 奥、ぐりぐり、やヴああ♪」

ニキ 498 「飲んだ分だけ、精液になっちゃうんですかね♪

おちんぽが（低）おもーくかたーくなってるの、

ああ♪ すツツ〴〵分かるう♪ ん、ぐううう♪」

ニキ 499 「お薬貫通して、デキちゃったりして♪ ふへ♪  
そうになったら、責任、とってくれるんですかあ?」

【★左右揺れここまで】

一旦ピストン止まる。

《◆正面/10cm また見つめ合う》

ニキ 500 「はあ、はあ」

責任とるけど? と真面目に言われて。

ニキ 501 「く?」

(顔そらす)

ニキ 502 「いや、その……いきなり真剣なの、  
やめてくださいよ……♪♪♪」

(顔を見る)

ニキ 503 「今のは、違くてー!」

《◆正面/0cm 口を奪われる。優しいキス》

ニキ 504 「ん……ちゅ……ちゅう♪」

《◆正面/10cm ちょっと逃げる》

ニキ 505 「それ嫌い♪ カラオケの時もされたの、なんか、  
それ、嫌い……♪」

《◆正面/0cm 口を奪われる》

ニキ 506 「んん、ちゅう♪」

ニキ 507 「私は、オナペットに、なっちゃったから!  
仕方なくこうしてるだけでー!」

ニキ 508 「ん、ちゅ♪ んー♪ れる、ちゅ♪ ちゅう♪」

≡キ 509 「本気にしたら、絶対、戻れなくなるから」

≡キ 510 「ちゅっちゅ♪」

≡キ 511 「やーだ♪」

≡キ 512 「ちゅ♪」

≡キ 513 「嫌い♪」

≡キ 514 「ちゅう♪」

≡キ 515 「大っ嫌い♪」

≡キ 516 「んーちゅ♪ ちゅ♪」

≡キ 517 「んー……まだ嫌い♪」

≡キ 518 「はあ、れる、れえる、れろ、ちゅ……ちゅう♪」

≡キ 519 「分かったから♪ はあ、はあ」

《◆正面/10cm 見つめ合う》

≡キ 520 「じゃあ……」

≡キ 521 「優しい先輩で……いてくれる?」

うん。

≡キ 522 「もう、乱暴しない?」

うん。

≡キ 523 「絶対?」

うん。

≡キ 524 「……………そこはさあ」

うん?.

≡キ 525 「ちょっとは乱暴してよ……ん♪」

……………ッー

《◆左前/10cm 抱かれ、覆いかぶされる》

1秒2〜3回ほど、ぐちよぐちよ強めピストン。

ニキ 526 「うあ♪ あああ♪ ——あっ、あっ、ひっ、ひぎっ、  
うっ、うえっ、えあっ、い、いき、なり、はあ！  
す、すぐ、イク♪ イキ、ます♪ あっ、ああ♪」

(だんだん喘ぎ強く)

ニキ 527 「(低) イグ♪ イグ♪ イグ♪ イグ♪ イグ♪  
いぐうううう♪」

絶頂しても止めない。イキ狂い。

ニキ 528 「ああああああああ♪ あ、あああ♪ はっ、  
あっ♪ あえ？ えっ？ あっ♪ ああっ♪  
イキました♪ イキましたあ♪ ひゃ♪ あっ♪  
ああああああ♪ イった♪ イったって！  
またイった！ おちんぽ、だめ♪ だめえ♪  
もう無理です！ もう無理です！ 無理です！  
だめ！ 無理！ ほんと無理！ 無理！ やあ！  
あっ♪ (低) おっ♪ おっ♪ ぐっ♪ おっ♪  
イッ♪ イグッ♪ イグイグイグイグ♪」

深い絶頂。

ニキ 529 「(低) んおおおっ♪♪♪ あっっ♪♪ あぐっ♪♪  
ああっ♪♪ ああああああ……♪」

ニキ 530 「あ……ああ……あああ……あ……ああ♪」

《◆正面/10cm 見つめ合う》

ニキ 531 「はあ……はあ……♪」

ニキ 532 「それはあ……はあ……やりすぎい……♪ はあ」  
ニキ 533 「やっぱだいつきらい♪ くす♪」

《◆正面/0cm ミキのほうからキス》

ニキ 534 「んちゅ、れえる、れる、れえる、れろれろ♪  
ちゅっ♪」

ニキ 535 「座つてするの？ いいよ♪ れる、ちゅ♪」

二人、起き上がって対面座位。

（ちよっと離れて、また口元へ）

ニキ 536 「ん……はあ」

ニキ 537 「ちゅ♪ んん♪ れる♪」

《◆正面/10cm》

ニキ 538 「あっーい♪ もう服脱いじやうね？ はあ、はあ」

《◆正面/0cm》

ニキ 539 「ぎゅーってしよ？ はあ、れる♪ んん♪ れる♪  
もっと♪ ぎゅーう♪ れるれる、ちゅっ♪」

ニキ 540 「付き合っんでしよ？ ちゅ♪ 恋人っぽくしよーよ♪  
あむ、ちゅ♪ れえるれるれる♪ んふ♪」

バカップルみたいなキス。

ニキ 541 「んー、ちゅ♪」

ニキ 542 「んー、ちゅ♪ ふふ♪ なにこのキス♪」

ニキ 543 「んー、ちゅ♪ にへ♪ 目つむってキスして  
よ♪ 恥ずかしいっつてば」

ニキ 544 「んー、ちゅ♪ むっ♪ 見つめながらいいの？  
んー、ちゅ♪ ちゅっちゅ♪ ふふ、これ嫌い♪」

ニキ 545 「ん、ちゅ♪ ちゅっちゅ♪」

ニキ 546 「ねー変な顔してるよ？ タコさんみたいな口」

ニキ 547 「んー、ちゅ♪ んー、ちゅ♪ ちゅっちゅっ

ちゅ♪ フツーに気持ちいいのほんと嫌い♪」

（ちよっと距離とって、またキス）

ニキ 548 「んー、ね逃げないで、んー、ちゅっ♪

くすくす♪」

《◆正面／10cm 下を見る》

ニキ 549 「あー。つながってるどこやば」

ニキ 550 「おっぱいミルクと、おまんこの本気汁で、真っ白♪  
いっぱいメレンゲできちゃった」

ニキ、自分でゆっくりピストン。

ニキ 551 「あっ、ああ、はあ♪ すごい糸引いてる」

《顔を見る》

ニキ 552 「ヤバい音してるね♪ えへ♪」

ニキ 553 「一週間も、おまんこ禁止されてたから♪ あっ♪  
寸止め汁、こんなに溜まっちゃったよ？」

ニキ 554 「ほんと先輩、鬼畜だと思います♪ はあ♪」

「めんね。

ニキ 555 「くす♪ 絶対本気で謝ってないし♪」

ニキ 556 「めんねーって♪」

《◆右前/10cm 抱く》

ニキ 557

「じゃあ、おちんぼで謝ってよ♪ ね?」

たぱん、たぱんっと水気の多い音を立てながら、  
重いお尻を打ち下ろす対面座位。

ニキ 558

「動くから♪ んっ、んっ、はあ、んっ♪」

ニキ 559

「服はあ、んっ、脱いじやったけどお♪ 一応今日は、  
えへ、メイドさん、だよお? はあはあ♪」

前半可愛く、後半は一気に低音。ギャップ意識。

ニキ 560

「おちんぼ、最後までご奉仕しますね♪  
ご主人さま♪ なんて、えへへ（低）おっ♪♪♪  
ほっ♪♪ ああちんぼきもち♪♪」

夢中になって腰を振る。可愛い声で下品な言葉を  
口走る。【エッチの最後まで喘ぎ声と吐息は低め】

ニキ 561

「ああ、はあ、うっ、はあ、あっ、あっ、はあ♪」

ニキ 562

「やば♪ カリ首ごすんのヤバ♪ ふー♪」

ニキ 563

「うん、好き♪ ニニ♪ おっ♪ 先輩の、おっ、  
じゃな、いと、屈、かな、いの♪ おへっ♪」

ニキ 564

「おっ、奥♪ おぐ♪ おぐ、すき♪ ふっ♪  
ふっ♪ ふっ♪ ほっ♪ おっ♪ おっ♪ んっ♪」

ニキ 565

「いめん♪ いめん♪ おっ♪ いっ、ご奉仕って♪  
言ったのに♪ わ、私♪ あの♪ おっ、おっ♪」

《◆右耳/0cm 抱きつく》〈小声〉

ニキ 566

「いめんさい、これきもち♪ ほっ、おっ、おっ、  
ほっ、おっ♪ ずっとこのちんぼがいい♪ おっ、  
おっきいちんぼ、すき、おっ♪ ふっ、ほっ、おっ」



(イントネーションぐちゃぐちゃ可愛いとろけ声。

デレデレになりながら、イキ声ギャップ)

ニキ567

「うん？ う、うん♪ しゅき♪ しゅきい♪

しえんぱい♪ しえんぱいのおちんぽしゅき♪ おっ、

おっ♪ やしやしい、しえんぱいも、ほっ、おっ、

ほんとーは、だいひゅき……だよ？ (照) ひみつ♪

えへへ♪ (絶頂/低) あーまんこイク。マジでイク。

おっおおおお♪ ふ、おお♪ やばきもち、おお」

ピストン一旦止まる。

ニキ568

「すみませ。またアクメしましたごめんなさ」

お尻を叩かれ、すぐピストン再開。

ニキ569

「は、はい。動きます。おっ、ふっ、おっ♪」

ニキ570

「まだ、潮吹きアクメ、してます、けど、おっ♪

ご主人、様には、か、関係、ない、ですもんね」

ニキ571

「腰振ります。すぐイクまんこでごめんなさい。ほっ、

おっ、ふっ、ふっ、ふっ、ふう♪」

《◆正面/0cm 見つめ合う》

ニキ572

「んっ、んっ、ふっ、んっ、んっ」

ニキ573

「きもちい？ ちゃんときもちい？ はあ、えへ♪」

絡み合うキス。リズムカルに低音喘ぎ。

ニキ574

「んれる、れえるれろれるれえる、ひゅき♪ れえろ、

れるれるる、しえんぱいだいひゅき♪ れえろれる

れろれるる♪ あごめんなさい、まんこ汁出ます。

(絶頂) ん、んんんん♪ れるれる、んん♪」

ニキ575 「んっ、んっ♪ と、とめまひえんかりや♪ んれろ  
れるれる♪ どぴゅどぴゅ♪ 準備ひて？ れえるれ  
るれる♪ うん♪ 中出しがいい♪ れろれろれろ、  
中出し♪ れるれる♪ 中出し♪ れろれろれるる  
れえる♪ ぷぁ♪」

《◆左耳/右耳 抱きつく。耳元で呟く》

ニキ576 「はあはあ♪」

ニキ577 「のぼってきたあ？ えへ、うん♪」

ニキ578 「奥にちよーだい？」

ニキ579 「オナペット彼女の、デカ尻腰振り、いきますねっ」  
じり

1秒3回ほどの夢中に食るミキの腰打ち。

『へっ、へっ』と犬のような、本当に夢中な感じ。

ニキ580 「んっ、んっ、おっ、ほっ、へっ、へっ、へっ、  
はっ、へっ、へっ、へっ、んっ、おっ、おっ、へっ、  
へっ、はっ♪」

絶頂しても全くスピードを変えずに。

ニキ581 「あ、ああ♪ またイキました♪ ごめんなさ♪  
あっ、へっ、へっ、へっ、ほっ、ほっ♪」

ニキ582 「ああ、ああ♪ せんば、すき♪ しゅき♪ しゅ  
き♪ うん♪ 私も、だい、ひゅき♪ あっ♪  
ねっ♪ ねえ♪ 乳、首♪ 乳首も、して？ はっ、  
はっ♪ うん♪ 乳、首も、あ、ああ♪ すき♪  
カリカリしゅき♪ ありがと♪ おっ、ほっ♪ これ、  
一番やばいアクメくる♪ んっ、ほっ、へっ、はっ、  
はっ♪」

ラスト。だんだんスピード早く。一番の絶頂へ。

《◆左前/10cm》〈イキ狂い〉

ニキ 583 「うん♪ 一緒にイニ? イニ? んっ、んっ、はっ、  
あ、あ、あ、あ、あ、あ、は、は、は、は♪ (低) あああ、  
ああああああ、はああい♪ イキます♪♪♪

イギますうううう♪♪♪ あっ、あああああ、ひっ♪  
(絶頂) ああああああ、ああああ、あああ♪♪♪」

ニキ 584 「あ、ああ♪ あっぐ♪ あ♪ あ、あああ♪」

残り汁を出すピストン。

ニキ 585 「んぎっ♪ ひぐうっ♪ うあっ♪ あっ♪

ああっ♪」

深イキ。絶頂の余韻がとても長い。

《◆左耳/0cm》脱力して抱きつく《〈小声〉

ニキ 586 「あ……ああ……あ……あ……ああ……あ♪」

ニキ 587 「あ、ああ動かないで……うん……はあ、

はあ……ああ……あ」

余韻だけで潮吹き。

ぶし……ぶし——……。

ニキ 588 「あやば……あ……あ——♪」

ぶしっ、ぶしっ、ぶしっ……。

ニキ 589 「ん、……お♪ おん♪ お♪ お♪」

……ぶし、ぶし……ぶしやあ——……。

ニキ 590 「あ……あ? は、あ……あ、あ——(痙攣) ああああ

あ♪ はあああああああ♪ んくぶう——♪

んぶ——♪ は——♪ は——♪」

絶頂から戻る。

《◆左前/10cm》

ニキ 591 「は、はあ♪ す、すいません♪ はー♪

今、幸せなところから戻りました♪ はへへ♪

ミルクと、潮吹き、出し切りましたあ♪ はあはあ」

《◆正面/0cm 幸せキス》

ニキ 592 「ふう……ん……ちゅ……れる、れえる……れろ、

ちゅ……はあ、れる……れえる、れる……れろれる」

ニキ 593 「精液す」お……れる……お腹の奥、幸せ……

ちゅう……あったかあい……れえる、れる、ちゅ、  
れえる」

ニキ 594 「おちんぼ、まだひくひくしてる……♪」

ニキ 595 「ちゅ、れる……え、先輩がひくひくしてるんじやないの？ 私？ どっち♪ ふふ♪ 感覚マヒってて  
分かんない♪」

ニキ 596 「私もひくひくしてるかも。まだおまんこきもちい」

ニキ 597 「ねー、もっとチュー」

ニキ 598 「ちゅ、れる……抜いちやや、ちゅ……やだから……  
れる、ちゅ……れえる、れろ、れる……ちゅう」

《◆正面/10cm》

ニキ 599 「先輩のこと、まあまあ感謝してるんですよ。」

ニキ 600 「そりやまあまあですよ。最初が最悪なんで。ふふ」

ニキ 601 「（一呼吸）」

ニキ 602 「正直……ずっと誰にも言えなくて……この体質、  
すっごく嫌だったんです」

ニキ 603 「でも、仲良くなるきっかけになりましたし」

ニキ 604 「先輩と、いっぱい触れ合えて……気持ちいいこと、  
させてもらってますし」

ニキ 605 「今は、なんか……悪くないかもって、思ってます」  
（顔をそらす）

ニキ 606 「ふふ。あのー……（照）真剣な話で、ちんぽ硬くす  
るの、どうかと思いますよ。」

（顔を見る）

ニキ 607 「やっぱり、先輩のこと嫌いです。」

《◆◆正面/0cm》

ニキ 608 「にへ♪ んーちゅ♪ ちゅれる、れえる♪」

甘いキスをしながらピストン再開。

ニキ 609 「ん、んん♪ んふふ♪ んゝ♪ れるれる、れる、  
ん♪ ん、れる、ん、んれる、ん、んっ♪」

（フェードアウト）

4.

フリーク

(ALL-END 17527 ｷﾀ)